

# 用語解説

## あ行

### アイスブレイキング (Ice breaking)

「氷が溶ける」というイメージから、緊張している状態を解きほぐすために行う、自己紹介やゲームなどのこと。場の雰囲気づくり。

### アクティブ・リスニング (Active Listening)

積極的に耳を傾け、ものを聴く方法。また、コミュニケーションの重要な要素である「聴く」技術を高める方法のこと。

具体的には、

1. 相手の言った事実を理解できているかどうかそのまま言い換えてみる
2. 相手を促してどんどん聴く（質問するのではない）
3. 相手に注意を傾け、全身で聴く
4. 相手の気持ちに共感的に聴く

### アジェンダ 21 (Agenda 21)

1992年6月リオ・デ・ジャネイロにおける「環境と開発に関する国連会議」地球サミットで採択された、環境保全のための規範を各論において実現するための行動計画。条約のような拘束力はないが、各国の政策への反映が期待されている。

アジェンダとは、「実施すべき計画」、「行動計画」のこと。

### ウィンウィン型解決

両者が互いに満足する、勝つ (Win) ような解決手法。そうした対立の解決法の一つであり、定義としては、「ロス = 負ける」、「ウィン = 勝つ」である。

「ウィン・ロス型」、「ロス・ウィン型」、「ロス・ロス型」、「ウィン・ウィン型」という4つの解決パターンがある。

けんかはほとんどの場合「ロス・ウィン型」か「ウィン・ロス型」で、どちらか一方が勝ち、一方が負ける。

「ウィン・ウィン型」は、当事者全員の必要としている物や目標を満たすやり方で、対立を解決していく方法のこと。

ウィン・ウィン型解決を達成するには、ウィン・ウィン型交渉という「場の技術」があり、それを理解したり、その技術を身につける必要がある。

### エスコート (Escort)

保護すること、つきそっていくこと。

### ガリバーマップ

日進市の大きな白地図に、まちのよいところ、悪いところなどを記入し、その状況を一望しながら討論できるようにした地図。

### 環境資源

大気・水・土壌・生物などの我々を取り巻く環境の諸要素、またはその複合体。これらは、自然浄化、気候緩和などの機能を持つのみならず、生命、快適空間などの様々な面で価値を持つ有限な資源であり、また次世代にとっても重要な資源である。

### KJ法 (KJ method)

カードによる情報整理・アイデア発想法の一つ。(KJは提唱者、川喜多二郎の頭文字から)

### コミュニケーション (スキル) (Communication Skill)

人間が互いに意思・感情・思考を伝達し合う技能。また、言語・文字その他視覚・聴覚に訴える身振り・表情・声などの手段によって行う技能のこと。

スキルとは、技能のことを指す。

コミュニケーションの基本的要素は「伝える」、「聴く」、「考える」ことであり、この3つの技術を磨くことが、効果的コミュニケーションを実現する上で不可欠である。

コミュニケーションは最初から上手い人はおらず、練習次第で誰でもが身につけることができる力でもある。

### コミュニティ (Community)

人々が共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域、及びそうした人々の集団を指す(地域社会、共同体など)。

### コンサルタント (consultant)

一般的に、企業経営・管理の技術などについて、指導・助言をする専門家、相談役のことを指す。

通常、行政計画を受託した場合は、計画のたたき台をコンサルタントで作成し、それを基に庁内で議論するが、日進市の環境基本計画づくりでは、コンサルタントがたたき台をつくらず、市民が主体的に作成するのを事務局と共に支援する立場ある。

具体的には、ワークショップの企画・運営、自然環境などの現地専門調査、市民・事業者などのアンケート調査、その他事務局のあらゆる支援を行う予定である。

## さ行

### 持続可能性 (Sustainability ; サステイナビリティ)

#### 持続可能な社会 (Sustainable Development ; 持続可能な開発)

もともとは生物資源（特に森林や水産資源）の長期的に維持可能な利用条件を満たすことをいうが、広義には自然資源消費や環境汚染が適正に管理され、経済活動や福祉の水準が長期的に維持可能なことをいう。

1992年6月リオ・デ・ジャネイロで「環境と開発に関する国連会議」地球サミットが開催された。「持続可能な開発」については様々な解釈をされているが、「環境と開発に関する世界委員会」報告書「Our Common Future (我ら共有の未来)」では、「将来の世代が自らの欲求を充足する能力を損なうことなく、今の世代の欲求を満たすような開発のこと」と定義している。また、1992年に国際自然保護連合 (IUCN)、国連環境計画 (UNEP)、世界自然保護基金 (WWF) が共同で作成した「新・世界環境保全戦略」では、「人々の生活の質的改善を、支持基盤である生態系の収容能力限界内で生活しつつ達成すること」と定義している。

ここでは、そうしたしくみが成り立つような社会のことを指す。

## た行

### 力の分析

行動計画の目標を具体的に絞り込み、行動計画を進める上で、プラスに働く力、マイナスに働く力を明確にする方法。

マイナスに働く力をはね除け、プラスに向かわせるようなアイデアが多く出てくれば、計画達成はより現実的なものに近づく。

## は行

### パートナーシップ (Partnership)

一般的に、友好的な協力関係のことを言う。

ここでは、市民、事業者、行政が持つ資源を出し合うことによって、それぞれが単独では達成できないことを実現することを指す。

### ファシリテーター (Facilitator)

単なる司会、進行役ではなく、話し合いを容易にし、促進する役割を担う人のこと。参加者一人ひとりが持っている豊かな経験・アイデア・意見やその場での気づきを引き出し、みんなが等しく参加できるようにする人。

### フィールドワーク (Fieldwork ; 野外研究、野外調査)

地域の資源や素材を地域の人自身が発見し掘り起こしていく作業。

<特徴>

1. 体験・実感することによって、より深く理解できる
2. より深く知ることによって、自分が住んでいる地域に愛着が湧いてくる
3. 地域やグループとの交流の機会となる

### ブレインストーミング (Brainstorming)

自由討論方式で多くの意見を出しあい、独創的なアイデアを引き出す集団思考法。

<ルール>

1. 批判厳禁 (意見の善し悪しの批判をしない、はじめから批判されると発言しにくくなる)
2. 大胆な意見を歓迎 (どんな突飛な意見でも必ず取り上げる)
3. 質より量 (発言は多ければ多いほどよい、多ければ質の高い意見も出る)
4. 便乗歓迎 (人の出した意見に連想した意見を大いに歓迎する)

### プログラムデザイン (Program Design)

会議やワークショップなど、住民参加の集まりの具体的な進め方や運営方法を企画すること。

### プロセス (Process)

手順、過程のこと。

## ま行

### ミッション (Mission)

ここでは、果たすべき使命や役割のことを指すが、ミッションとはその組織、その団体、またその事業なりが「担っている役割」、「達成すべき目標」としても使われる。

### モチベーション (動機付け) (Motivation)

意志を決定したり、行動を起こしたりする際の、直接的な原因のこと。

## ら行

### リソース (パーソン) (Resource Person)

リソースとは資源、財源、資産などのこと。ここで言うリソースパーソンとは、そうした人のことを指す。

## レクチャー (Lecture)

講義や講演、講話、解説や説明のこと。

## わ行

## ワークショップ (Workshop ; 工場、工房)

一方向の知識伝達とは異なり、お互いが働きかけあいながら、「個人をふりかえり、他者から学ぶ」ことができ、「自己理解、相互理解、共通理解」を深める可能性を持つ場。

その場にいる参加者が、ある共通の目的のために共同作業を行うことであり、個人の立場で、対等に自由な意見を出し合い、書き積み上げていく作業を指す。

<特徴>

1. 立場や専門性を超えて全員が公平に意見を言える
2. 個人攻撃をしない
3. 意見を書き出して共有する
4. 意見の相互作用によってまとめていく
5. 発表する